

SDGs 認知度調査—全学生版—

作成者：評議員会議長 植田一成

2020/12/15(火)～12/25(金)までの間、常葉大学草薙・瀬名キャンパスに在籍する9学科、短期大学部、大学院生に向けてSDGs認知度調査アンケートをGoogleフォーム上で行った。673件の回答が得られた。

1. 学部・学科

心理教育学科…80
経営学科…114
英米語学科…48
生涯学習学科…48
生涯スポーツ…2
初等教育課程…55
保育学科…66
グローバルコミュニケーション学科…52
社会環境学科…57
短期大学部日本語日本文学科…40
短期大学部保育科…27
造形学科…41
初等教育高度実践研究科…9
外国語学部(グローバル or 英米語)…6
教育学部(初等教育 or 心理教育 or 生涯学習)…3
短期大学部音楽科…9
学籍番号…14
法学部…1
大学院…1

2. 学年

1年生…337
2年生…158

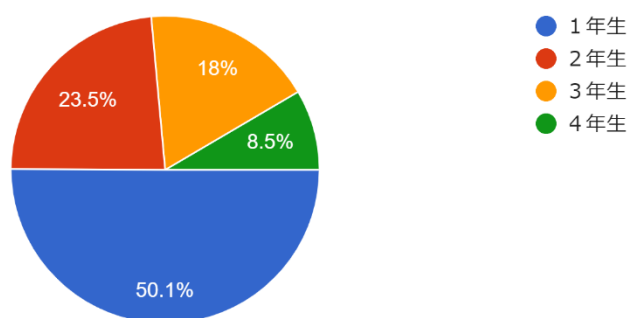
3 年生…121

4 年生…57

* 大学院生も含む

問 2. 学年

673 件の回答



3. 性別

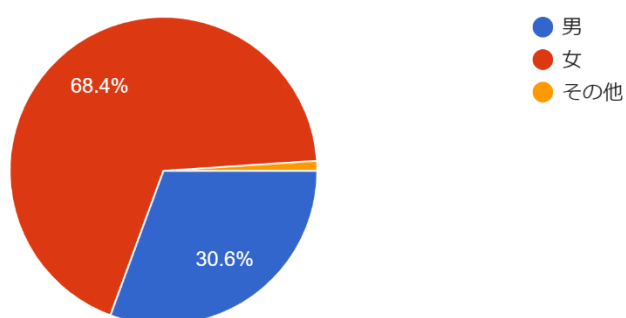
女…460

男…206

その他… 7

問 3. 性別

673 件の回答



4. 「SDGs」という言葉を聞いたことがありますか？

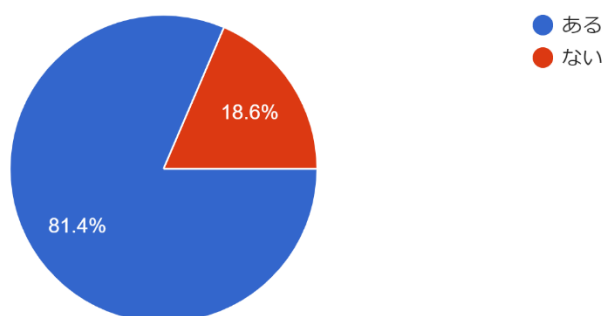
ある…548

ない…125

言葉を聞いたことがある人が比較的多いため、名前だけは知っているという人も多いのかもしれない。

問4. 「SDGs」という言葉を聞いたことがありますか？

673 件の回答



5. あると答えた方はどこで「SDGs」を知りましたか（複数回答可）

特に多かった回答は以下の通りである。

学校で学んでいる、または学んだことがある…73.2%

テレビ…49.6%

ネットのニュースやアプリ…25.2%

イベント…16.2%

新聞…14.2%

家族や知人、友人から聞いた…11.1%

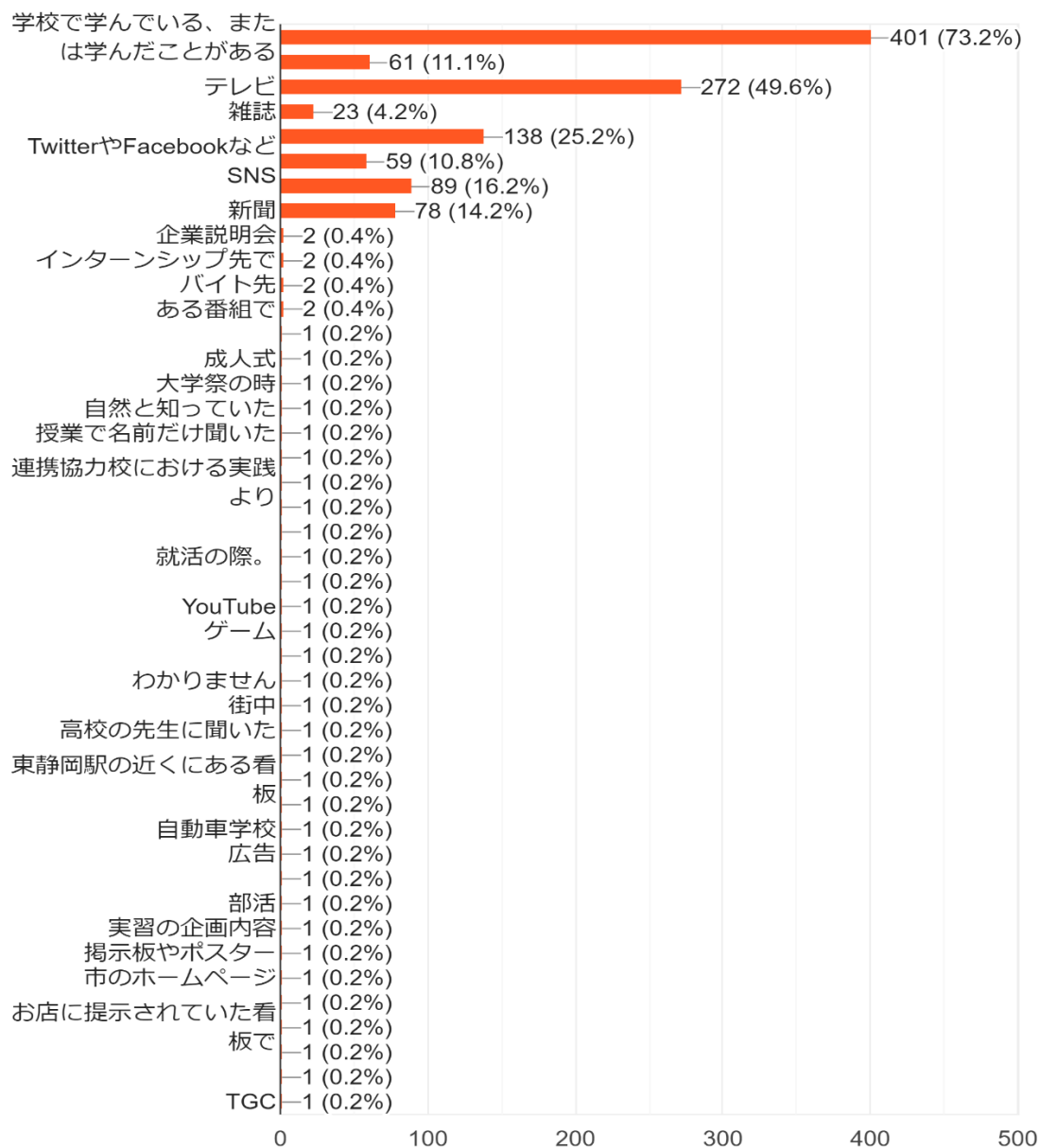
Twitter や Facebook など SNS…10.8%

雑誌…4.2%

学校で学んだことのある人が多いため、SDGs 授業の展開をしていくことで、より学生に興味を持ってもらうことができると考えた。また、メディアや SNS で知る人もいるため、常葉大学の取り組みをしていく上で、SNS の積極的な利用やイベントの活用が意味のある取り組みになると考えられる。

問 5. あると答えた方はどこで「SDGs」を知りましたか？(複数回答可)

548 件の回答

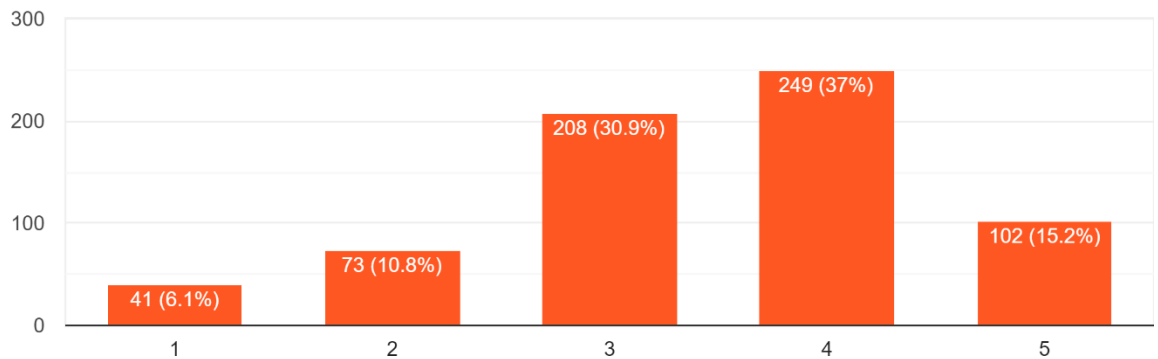


6. 「SDGs」について興味関心はどれくらいありますか？(複数回答可)

「4」が最も多く 37%、続いて「3」が 30.9%であった。「5」が 15.2%、「2」が 10.8%、「1」が 6.1%であった。

問6. 「SDGs」について興味・関心はどれくらいありますか？

673 件の回答

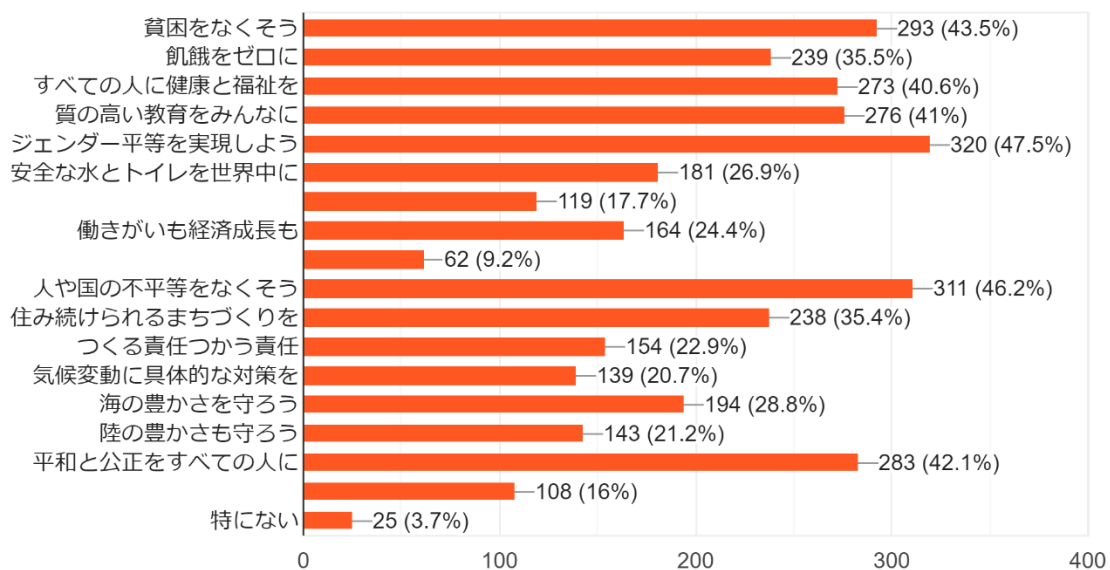


7. 17の目標(ゴール)のうち、どれに関心がありますか？(複数回答可)

最も多く関心があったのは、「ジェンダー平等を実現しよう」(47.5%)であった。日頃から人とのかかわりの中で意識しやすいことで比較的何をすればよいか明確なのだろう。「貧困をなくそう」(43.5%)、「人や国の不平等をなくそう」(46.2%)が続いて高かった理由も、ボランティアでの関わりやメディアで取り上げられることが多く問題意識として根付いているからかもしれない。「産業と技術革新の基盤をつくろう」(9.2%)が最も低く、「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」(17.7%)と低かった理由は、企業で取り組みやすい項目であるが、学生はそうしたものを個人で変えようとするのは難しく何をしたらよいかわかりにくいためだと思われる。「特にない」が3.7%と最も低かったことから何かしら関心は持っている人が多いのではないかと考えた。

問 7. 17の目標(ゴール)のうち、どれに関心がありますか？(複数回答可)

673 件の回答



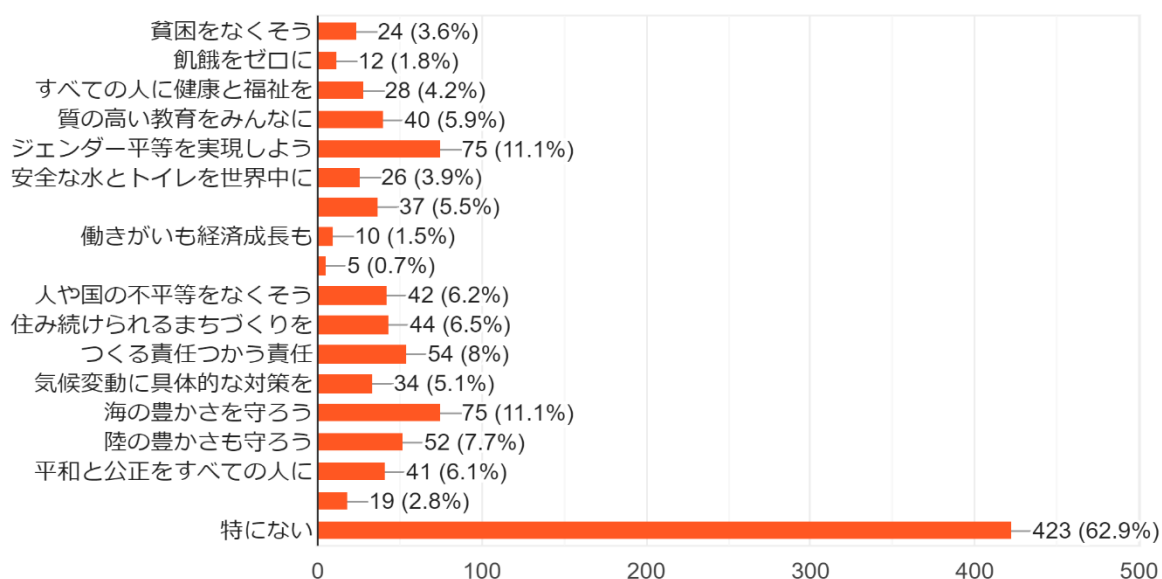
* 図の名前が見えない項目は 17.7%が「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、9.2%が「産業と技術革新の基盤をつくろう」、16%が「パートナーシップで目標を達成しよう」である。

8. 実際に取り組んでいる、もしくは取り組む予定のあることはありますか？(複数回答可)

「ジェンダー平等を実現しよう」、「海の豊かさを守ろう」がともに 11.1%とどの項目よりも比較的高かったが、「特になし」と答えた人が 62.9%であり、SDGs に積極的に取り組もうとしている人の少なさが感じられた。関心はあるが取り組んではおらず、取り組もうと意識していない人が多いことが分かる。

問 8. 実際に取り組んでいる、もしくは取り組む予定のあることはありますか？(複数回答可)

673 件の回答



* 見えない項目名は問 7 と同様である。

9. ある場合はどんなことに取り組んでいる、もしくは取り組む予定ですか？

481 件の回答が得られた。以下に回答を抜粋したものを挙げる(自由記述)。

- ・レジ袋の有料化からマイバッグを購入
- ・日焼け止めが海洋汚染に繋がると学び、サンゴにやさしい日焼け止めを使用する
- ・様々な人種がいることを意識
- ・油を布で拭く
- ・ゴミ拾い
- ・プラスチックの使用を極力控えること
- ・動物性の食材を控えて植物性の食材中心の生活を心がけること
- ・なるべく地元の、オーガニックの食材を選ぶこと
- ・食べすぎないこと
- ・自動車ではなく自転車や徒歩、公共交通機関を利用すること
- ・友人に自分が関心を持っている環境問題について話すこと
- ・環境保護団体の署名活動に参加すること

- ・「買う」ことを消費者としての社会への意思表示だと思って商品を選んで買うこと。例えば、フェアトレード商品や動物実験をしていない商品など。
- ・社会の中で当たり前になってしまっていることに対して疑問を持ち、問題を解決する方法を考えること
- ・環境問題や貧困について、本を読んだり詳しく人に話を聞いたりして学び、これらを解決することを目標にした仕事に就いたり、ビジネスを始めること
- ・性の違いによる差別について考えています。私は教育学部で将来子供と関わる機会が多く、子供の中でもすでに男女という概念が存在しています。その中で生きづらさを感じている子供が存在していることは事実であり、周りの人の理解を求めるのはとても難しいことと感じていますが、それを個性だと温かく認めてくれる環境を作れるように勉強をしています。
- ・ファストファッションを買わない。
- ・LGBTQ についてテレビで特集されているのを見てから、もっと知りたいと思うようになった。人と関わる時、誰とでも同じ態度で接するよう努めている。悩みを抱える人と実際に話をしてみたいと思っている。貧困問題については知らないことだらけなので、現状や各国の取り組みについてこれから調べていきたい。
- ・将来、教員となってジェンダー平等や持続可能な社会の形成についての教育を子どもたちにしていきたい
- ・節電、節水や物を大切にすることは意識して取り組んでいる。実際自分一人が意識しても、世界単位でみれば何も変わらない同然だと思うから、これを家族、周りの人たちに広めていくことが必要だと思った。
- ・まずはジェンダーについて理解しようと思っている。Youtube で関連動画やコメントを見て、自分の視野を広めている。今後は図書館にある、関連した本を読んだり、研究しようとしている。
- ・共同募金には積極的に取り組んでいる
- ・CO2 削減のためにエコカーに乗ったり有害ガスを出さないものを使っているものを購入したりする
- ・現在質の高い教育が全員に平等に与えられているわけではないと思います。 将来的には質の高い教育が全員に平等に与えられる制度を作る研究を行ってみたいとも考えています。

・私は将来教育に携わる人間でありたいと考えている。学校と地域の連携をより強くさせ、子どもたちの地域への関心を深めさせ、そこから学びを展開させていきたいと考える。

・石油系洗剤や石鹼ではなく、植物系でちゃんと作られた石鹼素材のものを使って水を汚さないようにしている。

・将来保育者になった際、質の高い教育を提供できるよう大学生のうちに実習で指導案を作成し、部分実習を行ったり、専門的な知識を身につけたりしている。

・まずはジェンダー間における差をみんなが知るべきだと思う。自分も当事者としての意識を持つだけでも変わると思うので、周知して行けたらいいと思う。

・祖父が NPO の活動などで取り組んでいるので、そこで一緒に活動できればと思います。(海、陸の清掃活動や、呼びかけるための広告づくりなど)

・飲食店でアルバイトで、今のご時世だからこそお客様に提供する商品が安全であることをつくる側の責任として、十分に注意して取り組んでいる。

・活動は参加していませんが、差別問題について、相手に偏見を持たないように意識しています。機会があれば、講演会などに参加してみたいです。

・部活で地域に関わる人が多いので(お祭りへの参加等の地域行事への参加)それが少しは取り組みに入っているのではと思う。

・高校時代に「平和と公正をすべての人に」のアプリケーションを作った。地域と密接したポイントカードのアプリケーション。

・保育をする中でジェンダー差別や、「男の子だから、女の子だから」という意識を子ども達にさせないように関わっている。

・ソーラーパネルを家に設置

・自然環境の問題を説明し、広める試みを通しながら、啓蒙を通し人々の思考力を鍛える助けとなる、執筆活動をしたい。

・住んでいる街について課題を見つけその課題についてどうすれば解決することができるか具体的に考え行動する予定。

・私は、先生になりたいと思っているので、教育という観点で皆が平等に学ぶ機会を提供できるようにがんばりたい。

・人種差別などなくしていこうと、SNS などで少しでも発信していきたい。(一度発信したことはある。)

- ・コーヒーを飲むときには、プラスチックのカップではなく、マグカップを持参して飲むようにしている。
 - ・ボランティアを通して、子どもたちに勉強を教えたり、勉強をするための環境を提供したりすること。
 - ・食べ物の廃棄についてと「つくる責任つかう責任」を結び付けたプロジェクトを考えています。
 - ・現在急速に普及しているフリマアプリを用いて、自分には不要となったものをリユースする。
 - ・地域住民の方々と積極的にコミュニケーションを取り、住みやすい環境を作り上げること。
 - ・大学を卒業したら、公務員として人々が住みやすいまちづくりを構成したいと考えている。
 - ・特別な支援等も含めて全ての人が同じように教育が受けられるような手立てを考えていく
 - ・将来なりたい職業がビオトープ管理士であり、詳しく学んでいきたいと考えているため。
 - ・現在、カンボジアの子どもに経済支援 将来、発展途上国に保育所の設置、教育
 - ・その人のやりたいことをさせればいい。批判する権利は、本人以外はいらない。
 - ・インフルエンサーの話を聞いたり、署名に協力したりしている
 - ・卒業制作で海の豊かさを守ろうについて取り組んでいます
 - ・実習先で SDGs のトランプを作り、イベントを開催する
 - ・性教育に関するセミナーへの参加・ボランティアへの参加
- などなど多種多様な意見が集まった。実際に団体で活動をしている学生も多いことが分かったため、全学生がこうした活動を周知できるようなシステムを Web ページ内や学校掲示でできればと考えた。

10. あなたが思う「SDGs」の課題点を教えてください。

257 件の回答が得られた。以下に回答を抜粋したものを挙げる(自由記述)。

- ・認知度が低い。
- ・言葉だけでは内容がわかりにくい。何をしたらいいのかわかりにくい。

・具体的にどのようなことをしたらいいのか、なんのためなのかを知らない人が多いと思います。私は静岡で行われた TGC で SDGs を知り、後に高校でプレゼンのために沢山調べ理解を深めました。しかし、名前しか知らず具体的にどのようなことをするのか調べるまで知りませんでした。なので自分と同じように感じている人がいるのではないかと思います。

・あまり世の中に浸透していない事が課題だと思います。言葉自体は知っていてもどのような内容か知らない人が多い気がします。更に、企業の取り組みをもっと全面的に出して社会全体で取り組んでいくことが課題だと思います。

・もっと身近で具体的な内容を示していない。そのため、客観的になったり、難しいことだと感じたりしてしまう。

・私は、国ごとで SDGs や環境問題に対する意識に大きな差があること、つまり国際社会が一丸となって SDGs に対して取り組んでいないことが大きな課題であると考えています。権力者には表面的には SDGs に対して前向きな態度を示して綺麗な言葉を並べ、しかし本心から本当に問題を解決しようと思っていない人が多いことも大きな問題です。SDGs の目標はどれも素晴らしいものですが、現在の社会の状況から考えるとどれも困難極まりないモノであるように感じます。現在の社会のあり方がこのような汚染された地球と格差社会を生み出したのに、私は生活していて社会の大きな変化を感じません。つまり思い切った大きな改革をしない限り SDGs という難しい大きな目標を達成することは不可能であると断言できます。日本に焦点を当てれば、国民主権という状況の中、SDGs 達成のための大きな改革をするためには国民の意思を伴う必要があります。私たち日本人個人は、他の国に比べて環境問題や国際社会問題に対して意識が低いと感じます。そのため、そもそも一人一人の意識をこれらの問題に向けることが課題であり、それが SDGs 達成のための第一歩だと考えます。

・17 の目標だが、地球の自然環境の改善が急務であるのに、時間をかけてやるべき社会的な目標を同列に扱っていることは問題というか弱点だと思う。目標の方向性が大まかに3つに分かれていて、動きの中心となるべき最も力を入れるところが見えていない。この際、いくつかの運動に別れ、相互支援していくようにすればどうなんだろうと思う。しかし、あれも問題これも問題と一つの運動で全部の目標を達成しようとしている。勢いがあるうちはいいが、停滞すれば方向性の違いとかで、SDGs に取り組む人同士で対立して、崩壊を起こすことになる。善意ではなく、知識と理性を持って

優先的な課題を決定しそこに力を集中して目標を達成していかなければならない。まずは、気候変動とそれに付随する問題改善が大事で、残念ながら、ほかの問題は悪化するのを防げばまずはいいい。しかし、決してほかの問題を軽視しているのではない。

・1つ目としては、世界共通の目標である、ということが懸念です。理由としてはそれぞれの国で抱える問題は異なるためです。それぞれの国が具体的に抱えている問題を相互に理解し、互いに知見をシェアしながら課題解決を目指すというのが理想的では無いかと思います。2つ目は、「SDGs」という言葉だけが社会に浸透し、「意識の高い人のみが取り組むもの」という認識になってしまうのではないかと、という点です。一般市民をどう巻き込んでいくか、というのが難しいなと感じています。

・理解をして認知されて社会に浸透するには根本的に価値観を変える必要があるもので、時間がかかることだと考える。特にジェンダーについては、昔からの固定観念を持つ人が多い日本では、制服を選べるようになったとしても、世間体や周りの大人の影響で制服を選べない可能性がある。したがって、制度的には制服を選べるようになったとしても、価値観を社会全体が変わらなければ制服を選べる環境にはならないと考える。

・挙げられている目標などは、今後私たちが生きていく上で考えなければいけないような議題ばかりなのは確かですが、挙げられている目標全てが抽象的で、また目標到達点が高すぎるものが多い気がします。もう少し具体性のあり、また私たちが身近に感じられるような小さな目標を設定していかないと、目標や決意だけ掲げて結局大した進展もなく終わってしまうような気がします。

・日本は毎年の調査で質の高い教育を皆が達成基準を満たしているグリーンであるが、奨学金という名の「借金」を大学に入学希望する若者に背負わせている時点で質が高い以前に教育を受ける受けないの時点で不安点が多い（大学は義務教育じゃないから受けなきゃいいなどという意見は今の日本の雇用形態から考えると軽々しく口にしてはいけない）。

・気候変動に対する具体的な政策が口ばかりであり政策として進んでいないように感じます。また、ジェンダー平等も近年制服の選択化など改善された規則はある者の個人としての意識が変わるまでの変化はみられていないと思います。女性の賃金が男性よりも低いのも女性が家事をするものという昔からの思い込みが消えていないからだだと思います。

・静岡の街の中に SGD s のポスターが貼ってあるのを見たが、興味関心がなければ見過ごしてしまう気がする。また、現在教育を受けている世代は学校で教えていただく機会があると思うが、上の世代の人たちに広め、理解を得るためにはもっと広報をしていかなければいけないと感じた。

・心に留めておくことは大切であり、現状を知ること大切ではあるためとてもいい考えだとは思いますが、理想だけを追い求めている感じがしている。具体的な実現性を感じない。ゴールがわからない。また、不平等の意味が国や人種などで変化するため大きくくりにせずにもう少し分けたほうがいい気がする。

・SDGs は大学の国際文化論という授業で初めて知りました。それほどまでに認知は少ないと考えています。ジェンダーなど SDGs の内容はそれとなく理解はできますが、SDGs とはと訊かれた時にすぐに答えられる人は少ない為、ポスターなどで理解を促さなければならないのではと考えます。

・SDGs の一つの「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」は技術的な面で一番実現困難なものだと思う。エネルギーをみんなに分けることはできるかもしれないが、クリーンなエネルギーとなると途端にそれが難しくなることが課題点の一つだと私は考えます。

・トイレを掃除しただけで、「SDGs に取り組んでいます！」などというような、誤った解釈をしている人がいることや、SDGs のバッジやシールを付けることが目的となっている企業があること。更には 30 年までの実現が見込めないこと。

・これらの目標の達成は、誰が、どうやって決めるのか。飲食店などで、透明な壁を設置しているのを目にするようになった。マスク以外の飛沫防止道具として、フェイスシールドも普及した。今後、プラスチック問題はどうなるのか。

・貧困や飢餓などの問題は日本でも発生している問題だということが、あまり知られていない、または、他の外国の問題が思い浮かんで国内のことには目が向かず、問題として捉えにくいと思う。

・静岡市もチャレンジしているのは知っているが、具体的に何をしているのか、何をする予定なのかは分からない。

・先進国と後進国の差を埋めるために SDGs は必須だが、後進国には SDGs に取り組む程の経済的余裕がない

などなどこちらも多種多様な意見が集まったが、認知度が低いという問題が過半数を

占めていた。SDGs 授業の展開を進めていくことでより幅広く学生が認知できるよう工夫していくべきである。また、静岡市や県内や日本国内の企業が何をしているか不明な学生も多いため、こちらも Web ページや学内掲示で紹介したり、授業のゲストとして企業の方を呼ぶといった活動が必要であると感じた。